

◇ 標準塗装仕様書

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロンパレ微弾性工法		
◇適用素地	RCT下地		
◇使用材料	下塗	ボンHBサーフェーサーR	16 kg/缶
	中塗	ボンフロンパレ中塗	15 kg/缶
	上塗	ボンフロンパレ主材	20 kg/缶

工程	使用材料	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
素地調整	旧塗膜に脆弱部分のある場合はサンダー・皮スキ・ケレン棒を用いて除去し、下地調整材を用いて段差修正及び模様合わせを行ってください。 高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去してください。					
1	下塗	ボンHBサーフェーサーR	清水 2 ~ 5 5 ~ 8	0.8 ~ 1.2 0.3 ~ 0.5	1	16h以上 砂骨ローラー ウールローラー
2	中塗	ボンフロンパレ中塗	清水 0 ~ 5	0.15 ~ 0.18	1	4h以上 ローラー スプレー
3	上塗	ボンフロンパレ主材	清水 2 ~ 5	1.0 ~ 1.5	1	- リシンガン 口径:5~6mm
合 計				3		

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率 (%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 塗装面が風化したコンクリートやリシン等脆弱な場合はボンカチオンプライマーを塗装してからボンHBサーフェーサーRを塗装してください。

〈ボンカチオンプライマー〉塗布量/0.10~0.15kg/m² 塗装間隔/2時間以上

注3) 中塗は上塗と同系色をご使用ください。